



マルチテナント Cisco vSmart コントローラ での柔軟なテナント配置

表 1: 機能の履歴

機能名	リリース情報	説明
マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置	Cisco vManage リリース 20.9.1	この機能を使用すると、テナントをマルチテナント展開にオンボーディングするときに、テナントにサービスを提供するマルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアを選択できます。テナントのオンボーディング後、テナントをマルチテナント Cisco vSmart コントローラの別のペアに移行して、オンボーディング中に予測されたよりも多くのテナント WAN エッジデバイスを許可できます。

- [マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置に関する情報 \(2 ページ\)](#)
- [マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置の制約事項 \(3 ページ\)](#)
- [オンボーディング中に Cisco vSmart コントローラをテナントに割り当て \(4 ページ\)](#)
- [テナントの Cisco vSmart コントローラ配置の更新 \(10 ページ\)](#)

マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置に関する情報

Cisco vManage による自動テナント配置

Cisco vManage リリース 20.8.x 以前のリリースでは、テナントをオンボードすると、Cisco vManage は、次のような要因を考慮する内部アルゴリズムに基づいて、マルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアをテナントに割り当てます。

- テナントに対して予測するテナント WAN エッジデバイスの数
- マルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアによってサービスされるテナントの数
- マルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアに接続された WAN エッジデバイスの数

テナントがオンボーディングされた後、最初に予測したよりも多くのデバイスをテナントに追加する必要がある場合、テナントにサービスを提供するマルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアがこれらの追加の WAN エッジデバイスに対応できる場合は、予測を変更できます。Cisco vSmart コントローラが追加の WAN エッジデバイスに対応できない場合は、テナントを削除し、変更したデバイス予測を使用してテナントを再度オンボーディングして、Cisco vManage が Cisco vSmart コントローラの適切なペアを割り当てるようにする必要があります。マルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアのいずれも、変更したデバイス予測に対応できない場合は、Cisco vSmart コントローラの新しいペアを追加してから、テナントをオンボーディングします。

プロバイダー管理者ユーザーによる柔軟なテナント配置

Cisco vManage リリース 20.9.1 以降、テナントのオンボーディング中に、テナントに割り当てられているマルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアを柔軟に選択できます。Cisco vManage による自動テナント配置は引き続きデフォルトの動作であり、オプションの構成として柔軟なテナント配置が可能です。

柔軟なテナント配置を支援するために、Cisco vManage は使用可能なマルチテナント Cisco vSmart コントローラをリストし、各コントロールラについて次の詳細をパーセンテージで指定します。

- 割り当てられているテナントの数
- 接続されているテナント WAN エッジデバイスの数
- メモリの使用率
- CPU 使用率

マルチテナント Cisco vSmart コントローラは、すべてのテナントで最大 24 のテナントと 1000 のテナント WAN エッジデバイスにサービスを提供できます。1 つ以上のテナントを割り当てることができ、テナントについて予測される数の WAN エッジデバイスにも接続できるコントロールラのペアを選択する必要があります。

テナントがオンボーディングされた後、最初に予測したよりも多くのデバイスをテナントに追加する必要があり、マルチテナント Cisco vSmart コントローラの割り当てられたペアがこれらの追加の WAN エッジデバイスに接続できない場合、テナントを Cisco vSmart コントローラの別のペアに移行できます。これによってより多くのテナントにサービスを提供し、テナントに対する WAN エッジデバイスの変更された予測に対応します。マルチテナント Cisco vSmart コントローラのペアのいずれも変更されたデバイス予測に対応できない場合は、他のテナントを代替 Cisco vSmart コントローラに移行して、コントロールラの容量をより効率的に使用し、テナントへの割り当てを最適化することができます。最適化によって、テナントに対する変更されたデバイス予測に対応するために必要な容量が作成されない場合は、Cisco vSmart コントローラの新しいペアを追加してから、テナントを移行します。

マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置の利点

- 異なる障害ゾーンに展開された Cisco vSmart コントローラを選択して、両方のコントロールラが同時に障害を起こす可能性を減らします。クラウド環境では、異なるリージョンに展開されたコントロールラを選択します。
- テナント WAN エッジデバイスと同じ地理的リージョンに展開された Cisco vSmart コントローラを選択して、遅延を減らします。
- 割り当てられた CPU、DRAM、ハードディスクリソース、およびこれらのリソースの使用率に基づいて、Cisco vSmart コントローラを選択します。
- テナントデバイスの予測の変更に対応するために、テナントを別の Cisco vSmart コントローラに移行します。

マルチテナント Cisco vSmart コントローラでの柔軟なテナント配置の制約事項

テナントを Cisco vSmart コントローラの別のペアに移行する場合は、テナントに割り当てられている Cisco vSmart コントローラを一度に1つずつ変更する必要があります。これにより、移行中に Cisco vSmart コントローラの1つをテナント WAN エッジデバイスで使用できるようになり、トラフィックの中断が防止されます。

オンボーディング中に Cisco vSmart コントローラをテナントに割り当て

前提条件

- 新しいテナントを追加する前に、少なくとも 2 つの Cisco vSmart コントローラが動作し、vManage モードになっている必要があります。

テンプレートを Cisco vManage からコントローラにプッシュすると、Cisco vSmart コントローラは vManage モードに入ります。CLI モードの Cisco vSmart コントローラは、複数のテナントに対応できません。

- Cisco vSmart コントローラの各ペアは、最大 24 のテナントと最大 1000 のテナントデバイスに対応できます。新しいテナントに対応できる Cisco vSmart コントローラが少なくとも 2 つあることを確認します。展開内の Cisco vSmart コントローラのペアが新しいテナントに対応できない場合は、2 つの Cisco vSmart コントローラを追加して、それらのモードを vManage に変更します。
- 1 回の操作で最大 16 のテナントを追加します。複数のテナントを追加する場合、[Add Tenant] タスク中、Cisco vManage はテナントを同時に追加するのではなく、1 つずつ追加します。

[Add Tenant] タスクの進行中は、2 つ目のテナント追加操作を実行しないでください。これを行うと、2 つ目の [Add Tenant] タスクが失敗します。

- 各テナントには、Cisco Software Central のプラグアンドプレイコネクトに一意的な仮想アカウント (VA) が必要です。テナント VA は、プロバイダー VA と同じスマートアカウント (SA) に属している必要があります。
- オンプレミス展開の場合、プラグアンドプレイコネクトでテナント用の Cisco vBond Orchestrator コントローラプロファイルを作成します。次の表のフィールドは必須です。

フィールド	説明
プロファイル名	コントローラプロファイル名を入力します
マルチテナント機能	ドロップダウンリストから、[Yes] を選択します。
SP Organization Name	プロバイダー組織名を入力します。
組織名	テナント組織名を <SP Org Name>-<Tenant Org Name> の形式で入力します。組織名には最大 64 文字を使用できます。
プライマリ コントローラ (Primary Controller)	プライマリ Cisco vBond Orchestrator のホストの詳細を入力します。

クラウド展開の場合、テナント作成プロセスの一部として Cisco vBond Orchestrator コントローラプロファイルが自動的に作成されます。

1. プロバイダーの **admin** ユーザーとして Cisco vManage にログインします。
2. Cisco vManage のメニューから **[Administration] > [Tenant Management]** の順に選択します。
3. **[Add Tenant]** をクリックします。
4. **[Add Tenant]** スライドインペインで、**[New Tenant]** をクリックします。
5. 次のテナントの詳細を設定します。

フィールド	説明
Name	テナントの名前を入力します。 クラウド展開の場合、テナント名はプラグアンドプレイコネクットのテナント VA 名と同じである必要があります。
Description	テナントの説明を入力します。 説明の最大長は 256 文字で、英数字のみを使用できます。
組織名	テナント組織の名前を入力します。組織名には最大 64 文字を使用できます。 組織名では、大文字と小文字が区別されます。各テナントまたは顧客には、一意の組織名が必要です。 組織名を次の形式で入力します。 <SP Org Name>-<Tenant Org Name> たとえば、プロバイダーの組織名が「managed-sp」でテナントの組織名が「customer1」の場合、テナントを追加するときに、組織名を「managed-sp-customer1」と入力します。

■ オンボーディング中に Cisco vSmart コントローラをテナントに割り当て

フィールド	説明
URL Subdomain	

フィールド	説明
	<p>テナントの完全修飾サブドメイン名を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> サブドメイン名には、サービスプロバイダーのドメイン名が含まれている必要があります。たとえば、<code>managed-sp.com</code> サービスプロバイダーの場合、<code>customer1</code> の有効なドメイン名は <code>customer1.managed-sp.com</code> です。 <p>(注) サービスプロバイダー名はすべてのテナントで共有されます。URL 命名規則が、[Administration] > [Settings] > [Tenancy Mode] を使用してマルチテナント機能を有効にするときに従ったものと同じドメイン名規則に従っていることを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> オンプレミス展開の場合、テナントの完全修飾サブドメイン名を DNS に追加します。完全修飾サブドメイン名を、Cisco vManage クラスタ内の 3 つの Cisco vManage インスタンスの IP アドレスにマッピングします。 <ul style="list-style-type: none"> プロバイダー DNS : DNS A レコードを作成し、Cisco vManage クラスタで実行されている Cisco vManage インスタンスの IP アドレスにマップします。A レコードは、プロバイダーのドメイン名と、Cisco vManage でマルチテナント機能を有効にするときに作成されたクラスタ ID から導出されます。たとえば、プロバイダーのドメイン名が <code>sdwan.cisco.com</code> で、クラスタ ID が <code>vmanage123</code> である場合、A レコードは <code>vmanage123.sdwan.cisco.com</code> として設定します。 <p>DNS A レコードの追加に失敗すると、Cisco vManage へのログイン時に認証エラーが発生します。</p> <p>nslookup コマンドを使用して、DNS が正しく設定されていることを検証します。例：<code>nslookup vmanage123.sdwan.cisco.com</code></p> テナント DNS : 作成された各テナントの DNS CNAME レコードを作成し、プロバイダーの FQDN にマップします。たとえば、プロバイダーのドメイン名が <code>sdwan.cisco.com</code> でテナント名が <code>customer1</code> の場合、CNAME レコードは <code>customer1.sdwan.cisco.com</code> として設定します。

フィールド	説明
	<p>CNAME レコードにはクラスタ ID は必要ありません。</p> <p>nslookup コマンドを使用して、DNS が正しく設定されていることを検証します。例：<code>nslookup customer1.sdwan.cisco.com</code></p> <ul style="list-style-type: none">クラウド展開の場合、テナントの完全修飾サブドメイン名は、テナント作成プロセスの一部として DNS に自動的に追加されます。テナントを追加した後、テナントの完全修飾サブドメイン名が DNS によって解決されるまでに最大 1 時間かかる場合があります。
Forecasted Devices	<p>テナントがオーバーレイに追加できる WAN エッジデバイスの数を入力します。</p> <p>テナントがこの数を超える WAN エッジデバイスを追加しようとする、Cisco vManage はエラーを報告し、デバイスの追加は失敗します。</p>

フィールド	説明								
Select two vSmarts	<ul style="list-style-type: none"> 自動テナント配置：[Select two vSmarts] の値が [Autoplacement] であることを確認します。これはデフォルトの設定です。 柔軟なテナント配置： <ol style="list-style-type: none"> [Select two vSmarts] ドロップダウンリストをクリックします。 Cisco vManage に、使用可能な Cisco vSmart コントローラのホスト名が一覧表示されます。Cisco vManage は、Cisco vSmart コントローラごとに、コントローラが到達可能かどうかを示し、次の使用状況の詳細を報告します。 <table border="1" data-bbox="959 751 1521 1545"> <tr> <td data-bbox="959 751 1154 1024">テナントのホスティング容量</td> <td data-bbox="1154 751 1521 1024">各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラに割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることできるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="959 1024 1154 1367">使用デバイス容量</td> <td data-bbox="1154 1024 1521 1367">各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナント WAN エッジデバイスをサポートします。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングするテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="959 1367 1154 1457">メモリ使用率</td> <td data-bbox="1154 1367 1521 1457">この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="959 1457 1154 1545">CPU 使用率</td> <td data-bbox="1154 1457 1521 1545">この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。</td> </tr> </table> 使用率の詳細に基づいてテナントに割り当てる 2 つの Cisco vSmart コントローラを選択します。 Cisco vSmart コントローラを選択するには、そのホスト名の隣にあるチェックボックスをオンにします。 	テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラに割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることできるかどうかを示します。	使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナント WAN エッジデバイスをサポートします。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングするテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。	メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。	CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。
テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラに割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることできるかどうかを示します。								
使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大テナント WAN エッジデバイスをサポートします。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングするテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。								
メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。								
CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。								

6. テナント設定を保存するには、[Save] をクリックします。

7. 別のテナントを追加するには、ステップ 4～6 を繰り返します。
8. テナントを展開にオンボーディングするには、[Add] をクリックします。

Cisco vManage は、[Create Tenant Bulk] タスクを開始して、テナントをオンボーディングします。

このタスクの一環として、Cisco vManage は次のアクティビティを実行します。

- テナントを作成します
 - テナントにサービスを提供する 2 つの Cisco vSmart コントローラを割り当て、CLI テンプレートをこれらのコントローラにプッシュしてテナント情報を設定します
- テナントと Cisco vSmart コントローラの情報 を Cisco vBond Orchestrator に送信します。

タスクが正常に完了すると、[Administration] > [Tenant Management] ページで、テナントに割り当てられた Cisco vSmart コントローラを含むテナント情報を表示できます。

テナントの Cisco vSmart コントローラ配置の更新

現在テナントに割り当てられているコントローラから、別の Cisco vSmart コントローラペアにテナントを移行できます。たとえば、テナント WAN エッジデバイスの予測を増やす必要があり、テナントに割り当てられたコントローラがこれらの変更された数のテナント WAN エッジデバイスに接続できない場合、テナントを、変更された予測に対応できるコントローラのペアに移行できます。

テナントを Cisco vSmart コントローラの別のペアに移行する場合は、テナントに割り当てられている Cisco vSmart コントローラを一度に 1 つずつ変更する必要があります。これにより、移行中に Cisco vSmart コントローラの 1 つをテナント WAN エッジデバイスで使用できるようになり、トラフィックの中断が防止されます。

1. プロバイダーの **admin** ユーザーとして Cisco vManage にログインします。
2. Cisco vManage のメニューから [Administration] > [Tenant Management] の順に選択します。
3. 別のコントローラに移行するテナントについては、テナント組織名の横にある [...] をクリックします。
4. [Update vSmart Placement] をクリックします。
5. [Update vSmart Placement] スライドインペインで、次のように設定します。

フィールド	説明								
Source vSmart (currently applied)	<p>1. [Source vSmart (currently applied)] ドロップダウンリストをクリックします。</p> <p>Cisco vManage に、テナントに割り当てられた Cisco vSmart コントローラのホスト名が一覧表示されます。Cisco vManage は、Cisco vSmart コントローラごとに、コントローラが到達可能かどうかを示し、次の使用状況の詳細を報告します。</p> <table border="1" data-bbox="906 573 1620 1367"> <tr> <td data-bbox="906 573 1101 842">テナントのホスティング容量</td> <td data-bbox="1101 573 1620 842">各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 842 1101 1188">使用デバイス容量</td> <td data-bbox="1101 842 1620 1188">各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 テナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1188 1101 1283">メモリ使用率</td> <td data-bbox="1101 1188 1620 1283">この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="906 1283 1101 1367">CPU 使用率</td> <td data-bbox="1101 1283 1620 1367">この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。</td> </tr> </table> <p>2. テナントに割り当てられたいずれかの Cisco vSmart コントローラのホスト名の隣にあるチェックボックスをオンにします。</p>	テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。	使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 テナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。	メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。	CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。
テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。								
使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 テナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数と Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。								
メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。								
CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。								

フィールド	説明								
Destination vSmart	<p data-bbox="821 289 1481 352">1. [Destination vSmart] ドロップダウンリストをクリックします。</p> <p data-bbox="867 380 1481 552">Cisco vManage に、テナントに割り当てられていない使用可能な Cisco vSmart コントローラのホスト名が一覧表示されます。Cisco vManage は、Cisco vSmart コントローラごとに、コントローラが到達可能かどうかを示し、次の使用状況の詳細を報告します。</p> <table border="1" data-bbox="867 573 1619 1367"> <tbody> <tr> <td data-bbox="867 573 1065 842">テナントのホスティング容量</td> <td data-bbox="1065 573 1619 842">各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="867 842 1065 1188">使用デバイス容量</td> <td data-bbox="1065 842 1619 1188">各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 のテナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数を Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="867 1188 1065 1276">メモリ使用率</td> <td data-bbox="1065 1188 1619 1276">この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="867 1276 1065 1367">CPU 使用率</td> <td data-bbox="1065 1276 1619 1367">この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="821 1388 1481 1488">2. テナントに割り当てる Cisco vSmart コントローラのホスト名の隣にあるチェックボックスをオンにします。</p> <p data-bbox="867 1514 1481 1614">テナントデバイスに対応するために必要な容量がない Cisco vSmart コントローラを選択すると、更新操作は失敗します。</p>	テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。	使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 のテナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数を Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。	メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。	CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。
テナントのホスティング容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 24 のテナントに対応できます。テナントのホスティング容量は、Cisco vSmart コントローラが割り当てられているテナントの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、このコントローラに別のテナントを割り当てることができるかどうかを示します。								
使用デバイス容量	各 Cisco vSmart コントローラは、最大 1000 のテナント WAN エッジデバイスをサポートできます。使用デバイス容量は、Cisco vSmart コントローラに接続されているテナント WAN エッジデバイスの数をパーセンテージの形式で表します。この値は、オンボーディングしているテナントについて予測されるデバイス数を Cisco vSmart コントローラがサポートできるかどうかを示します。								
メモリ使用率	この値は、メモリ消費量をパーセンテージで表します。								
CPU 使用率	この値は、CPU 使用率をパーセンテージで表します。								

6. [更新 (Update)] をクリックします。

7. テナントに割り当てられている他の Cisco vSmart コントローラを変更するには、手順 3 から手順 6 を繰り返します。

Cisco vManage は、テナント vSmart 更新タスクを開始して、選択した Cisco vSmart コントローラをテナントに割り当て、以前に割り当てられた Cisco vSmart コントローラからテナントの詳細を移行します。タスクが正常に完了すると、**[Administration] > [Tenant Management]** ページで、テナントに割り当てられた Cisco vSmart コントローラを含むテナント情報を表示できます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。